

# 研究実施のお知らせ

2022年7月12日 ver.1.01

## 研究課題名

新生児期の出生直後からの血糖推移

## 研究の対象となる方

2019年1月から2022年12月の3年間で小児科に入院した271例の新生児（当院出生の赤ちゃん）が対象です。

## 研究の目的・意義

赤ちゃんが低血糖発作を起こすと、その後の発達（歩いたり喋ったり）が障害される可能性が高くなります。ただ、赤ちゃんは低血糖のサインを出さないので痙攣や意識障害といった発作に陥ってから低血糖に気づかれることがあります。そのため、糖尿病合併母体から出生した児や帝王切開児、早産児といった低血糖のリスクがある赤ちゃんについては、出生直後後から数時間（施設によっては数日）に渡って血糖チェックが行われています。

当院小児科では、そのような赤ちゃんは原則入院として、出生直後から頻回に血糖チェックをしています。しかし、これは採血を受ける赤ちゃんが痛いだけでなく、血糖測定を実施する病院スタッフにとっても業務の負担が大きいのです。

そこで、本研究では、どういった赤ちゃん、出生後何時間くらいで一番血糖が下がりやすいのか明らかにして、赤ちゃんの血糖チェックの回数を減らすことが出来ないか調べたいと考えています。

## 研究の方法

2019年1月から2022年12月の3年間で小児科に入院した赤ちゃんのうち、出生直後からの血糖値を調べているお子さんが対象です。血糖値の推移のほか、性別、在胎週数、出生体重、アプガースコア、臍帯血 pH、母体の合併症や体格を含めた身体情報、児の病的背景（呼吸障害やブドウ糖点滴の有無など）を調べます。

## 研究の期間

2022年8月～2023年3月末

## 研究組織

この研究は大田市立病院小児科が単独で行います。

研究責任者（研究で利用する検体・情報の管理責任者）：

大田市立病院 小児科部長 山田健治

## 研究組織・相談・連絡先

大田市立病院小児科の山田健治が研究責任者として本研究を行います。この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご質問・相談のある方は下記までご連絡ください。

研究責任者：

大田市立病院小児科部長 山田健治

〒694-0063 島根県大田市大田町吉永 1428 番地 3

TEL.0854-82-0330 FAX.0854-84-7749